

国際公約・鳩山イニシアチブ 世帯あたり 36 万円の負担増

9月22日に行われた国連気象変動サミットで、鳩山首相の演説が行われた。政権交代後、初の国際会議における演説では、英語で演説。しかしながら、温室効果ガスの削減に対する『前提』がハッキリしていないと指摘されている。

鳩山首相は中国・インドなど全ての主要排出国の参加を前提と考えていたようだが、鳩山首相の英文・発音では「前提抜き」で25%削減と各国に受け止められ、勘違いによる演説中の拍子を受けた。

地球温暖化に関しては、温室効果ガス削減が必ずしも温暖化抑制に効果を発揮しないという学説が次々と発表されている。しかし、すでに首相の演

説は国際公約であり、温暖化抑制効果に疑問がある公約に、国民の資財・税・技術を費やすことになる。

排出削減は困難を極める上に、世帯当たり年36万円の負担増と言われている。目標達成が出来ない場合、日本は他国から排出権を購入しなければならず、購入には税金が使われる。

そのため、新たに地球温暖化税導入などが検討されている。

麻生政権で消費税増税について批判した鳩山首相であったが、政権交代直後の増税の検討は、著しく国民を欺く行為と言えらる。

国際会議の場で、このような重大事項を、対策なしに発言することに、批判的な意見が多い。

『まるで泥縄（どろなわ）状態だ』という声も上がっている。

参照①・②

直嶋経産相 具体策なし

直嶋経産相は、サミット後の24日に、温室効果ガス削減の必要な対策をとるよう指示した。具体策も無く、温室効果ガスの削減25%をマニフェストに掲げた民主党および、国際公約をした鳩山首相の責任は重い。参照③

9月20日、名古屋にて150名以上がデモに参加、次いで27日には東京で500名以上が参加するデモが行われた。

名古屋市中心部・秋葉原でデモ行進を行い、外国人参政権の危険性を全国民に訴えた。

参加者には女性の姿もあり、『インターネットの動画配信サイトでデモを知り参加しました』という人も。前号で外国人参政権の危険性を伝えたが、その危険性を知る国民は、かなりの危機感を持っているようだ。それが今回のような「普通の市民」が参加するデモにつながったと言える。参照④

編集長談

国連の気候変動サミットで、温暖化ガス削減の新目標を勝手に打ち上げた鳩山総理。

達成可能か検証されていない数字は、既に日本の国際公約になった。

一方、日本の経済危機は深刻だ。どの企業もコストカットに懸命である。CO2削減の余裕など無いのだ。

どの国も経済対策に必死に取り組んでいるというのに、鳩山内閣の迷走は著しい。

もし、荒唐無稽との声もある25%削減という数字を達成できなければ、日本は「信用できない国」と海外から認識され、国際社会からの尊敬と信用を失い、いざれ孤立するかもしれない。鳩山首相の身の丈に合わせ主導権の行使によって生じる損害を、最終的に引き受けるのは国民である。



外国人参政権
反対デモ
約700名
札幌・名古屋・東京

外国人参政権反対デモの様子（写真は名古屋）
全国リレーデモが行われている。
今後は、福岡（10/4）・大阪（10/10）でデモを予定している

参照URL

- ① 外務省 <http://www.mofa.go.jp/policy/un/assembly2009/pm0924-2.html>
- ② 赤祖父俊一インタビュー 櫻井よしこ 『地球温暖化の詐欺を暴く』 文藝春秋
- ③ 時事通信 <http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20090924-00000133-jij-pol>
- ④ 外国人参政権反対デモ <http://www.youtube.com/watch?v=suFfZTqQSKs>

◆報日新聞電子版は隔週発刊しております。
配布は非営利目的のボランティアによるものなので
ボランティアの都合上、連続配布・投函できない可能性があります。
過去記事を読みたい方は『ネット新聞編集長の部屋』でネット検索
もしくはQRコードをご利用ください。



草の根記者、草の根カメラマン募集中です。あなたが撮った凄い写真・面白写真なども募集しております。
詳細は『ネット新聞編集長の部屋』でインターネット検索